

研究の実施に関してポスター、ホームページ等により公表する文章

研究課題名：「EVAR後のII型エンドリークに対するIVRに関する症例調査」

1、【対象】 当院、放射線科において平成19年1月～平成23年12月に腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術（EVAR）が行われた方が対象となります。

2、【研究機関名】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

先進治療科学専攻腫瘍学講座 放射線診断治療学分野

3、【目的】 本研究は後方視的に腹部大動脈瘤へのEVARにおけるII型エンドリークに対するIVR治療成績を調査し、その有用性を検討し、明らかにすることを目的としたものです。

4、【方法】

EVARにおけるII型エンドリークへのIVR治療術を施行した患者さんの臨床診断、画像診断、塞栓術の手技、手技的成功の有無を評価します。それを元にデータの解析を行います。

5、【意義】

本研究によりEVARにおけるII型エンドリークへのIVR治療における現状を把握し、今後の治療方針を模索していく上で極めて重要な調査になる。

6、【個人情報の扱い】

調査結果の発表や出版に関しては個人が特定されるような情報は掲載しません。また得られた資料は研究計画書に記載した以外の研究には使用しません。個人情報は鍵のかかる保管庫で管理し、研究終了後に破棄します。

7、【問い合わせ先】

鹿児島大学大学医学部・歯学部附属病院

放射線診療センター（放射線科）

講師 馬場 康貴

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目3番1号

Tel 099-275-5417 Fax 099-265-1106

掲載ホームページ：<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~radiol/ippan/kenkyu.html>